

# 令和7年度 自己評価結果

(実施日：令和8年5月1日現在)

社会福祉法人ゆきわり会

施設名	認定こども園SHINJO
事業種別	幼保連携型 認定こども園

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート①

## 【基本情報】

### 【基本情報】

#### ①施設・事業所情報

名称： 幼保連携型 認定こども園SHINJO				種別： 幼保連携型 認定こども園								
代表者氏名： 園長 土岐 美穂				定員（利用人数）： 105名（令和 8年 3月 1日現在 122名）								
所在地： 青森市新城字平岡 2 5 2-4												
TEL： 017-788-0874				ホームページ： <a href="http://www.shinjou-kids.com/">http://www.shinjou-kids.com/</a>								
〔施設・事業所の概要〕												
開設年月日 昭和36年10月1日												
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 ゆきわり会												
職員数		常勤職員： 26 名				非常勤職員 10 名						
職員配置	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数		
	園長	1	副園長	1	主幹保育教諭	2	保育教諭	22	栄養士	1	調理員	3
	准看護師	1	嘱託医	2	学校薬剤師	1	用務員	2	運転手(兼務)	4	事務員	1
施設・設備の概要	(居室数)				(設備等)							
	保育室6 乳児室1 遊戯室1 事務室1 教材庫2 調乳室1 沐浴室1 遊具保管庫1 教材保管庫1 学習室1 職員休憩室1 調理室1 調理員休憩室1 洗濯室1 理事長室1				園児用トイレ・男女トイレ・洗濯室・外部倉庫・音響室							

#### ②理念・基本方針

※詳細、別紙事業報告書のとおり

#### ③施設・事業所の特徴的な取組

・さくらさくらんぼリズム運動を乳児から行い、体幹、表現力の基礎作りや食育の推進を行うために畑での種植えや収穫、収穫したものを利用したおやつ等作っている。月に3回にZERO～FIVEROOMまで“えいごのじかん”を行い、FIVE・FOURROOMでは年24回学研エデュケーショナル「まなびタイム」を行っている。ZEROROOMでは午睡時のルクミー午睡チェックを導入し保育教諭とセンサーのダブルチェックを行っている。特別保育事業として延長保育・預かり保育・ふれあい保育を行っている。今年度は地域のお子さんの一時預かりも多くなった。また、課外活動として英語教室、ピアノ教室、スポーツ教室、また、園バスを利用してヤクルトスイミングスクールに行っている。

・地域の中に小学校が2校ありFIVEROOM（年長児）との交流会など行っている。また、様々な場所に散歩に出かけ、地域の方々とふれあい、また、季節ごとに代わる自然を体感することが出来る。隣家がある子も一つの個性と捉え他の子どもと一緒に生活しているのが特徴の一つである。

#### ④第三者評価の受審状況

評価実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> なし（ホームページ内で公開）
	令和 6 年 7月（契約日）～
	令和 6 年 11月（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（平成 21 年度）
評価者	一般社団法人チーム結

#### 【自己評価の実施】

##### ①担当者

担当者 園長 副園長 主幹保育教諭

##### ②自己評価の実施体制等

保育教諭の自己点検表を考慮しながら、園長、副園長、主幹保育教諭(2名)による評価会議を行う。

##### ③課題等

自己評価を実施したうえで全体に関する課題や疑問などがありましたらご自由にお書きください。

・事業計画などホームページに記載していることを伝えているが保護者が確認していることはわからない。保護者アンケートや急なお知らせなどはキッズビューの機能を使い迅速に対応するようにしてきた。

また、地域との連携について、町会長の方を総合訓練の際に来ていただき園での避難訓練の仕方を見ていただきながら地域との連携を図っていく際の関係作りをしていった。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート②

## 【共通評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください(「a・b・c」)。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください(「□・☑」)。

## I 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☑にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	☑	ア 理念、基本方針が法人、保育所内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 理念は、法人、保育所が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人、保育所の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	資料作成は行っていないが、事業計画や園だより、入園のしおりに記載し、行事では理事長からの園の方針を話に盛り込んでいる。		☑	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
			☑	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			□	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			☑	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			□	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-1: 「

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☑にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	□	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	保育のコスト分析やこども園利用者の推移の分析は十分でないと思われるためb評価とした。		☑	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			□	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	☑	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	理事長より会議などで課題など話を聞く機会があり職員それぞれ周知していると思っている。		☑	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			☑	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

### I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		自己評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は☑にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	☑	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	中期・長期計画が明確に事業計画に記載され全職員に配布し必要に応じて見直しに行く体制も構築しているためa評価とした。		☑	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			☑	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	☑	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	具体的な取り組みが明記され実行しやすいものとなっているためa評価とした。		☑	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			☑	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画を策定するにあたり会議や手順を踏んで行っているが全職員の参画・意見の集約という点において難しい点も多いためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画はホームページ内に掲示しているがそれを保護者が確実に見て理解しているかどうかという観点から考えると十分ではないためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成する方法によって、保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

**I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組**

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	第三者評価は昨年度受けた。自己評価に関しては前期と後期に行い振り返りとなっているが分析には至っていないためb評価		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	各職員の理解度によると思われるためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

**II 組織の運営管理**

**II-1 管理者の責任とリーダーシップ**

★「施設長」は、「認定こども園SHINJO園長」と読み替える。「保育」については「認定こども園」と読み替える。

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	事業計画に職務分担として明記され会議等で役割について話している。広報誌(園だより)に園長として文章を掲載しているが責任という点については十分ではないと感じられるためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	経営に関する研修や勉強会に参加したことはないためb評価とした。(理事長・部長は研修に参加している)		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	保護者アンケートのなかから保護者からの要望を集計し、結果を保護者、職員に伝え、教育及び保育の向上に役立たせているが、指導力を発揮できているのかは十分ではないと思えるのでb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取組んでいる。
	経営の改善や業務の実効性について、職員の意識向上は図まだ、十分とは言えないのでb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

**II-2 福祉人材の確保・育成**

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の提供に関する専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	人事考課制度も取り入れ、人材の育成が図られ、新任研修及び、必要とされる研修を行い、研修に行った職員が講師になり研修報告を行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(こども園)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 法人(こども園)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	人事考課やチャレンジシート等によって職員の期待や本人自身の目標が具体化されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづき労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	福利厚生については法人全体の意見や国の改正を取り入れたものになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	人事考課やチャレンジシートを導入し、職員がそれぞれ目標を持ち、それに向けた取り組みがされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ども園が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、ども園が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	職員の採用時には新任研修を行いりの内部研修、外部研修を行い、行った際は復命書を記入し、研修内容の定着を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	キャリアアップの研修等(予定)、年間の研修スケジュールを事業計画に明記し全職員に配布し周知を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生を受け入れる体制が整い、毎年受け入れている。マニュアルも整備されているが指導者研修が実施されていないためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

**II-3 運営の透明性の確保**

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報などが適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ ども園における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	ホームページで事業計画、事業報告など開示しているが、地域に向けての広報誌などの配布物は行っていないためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 法人(ども園)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(ども園)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ども園における事務、経理、取引等に関するルール、職務文書と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ ども園における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
	公認会計士等の外部専門家などによる監査はども園独自では行っておらず、法人として実施しているためb判定とした。		<input type="checkbox"/>	ウ ども園の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

**II-4 地域との交流、地域貢献**

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域の親子のために「こどもえんであそぼう」を開催することが今年度でき引き続き地域にある市民センターでの「おやこであそぼう」にも職員を派遣し、小学校との交流会も行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ こども園や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティアの要請があれば、受け入れる体制は出来ているが、今年度はボランティアの要望はなかった。保育実習の受け入れはできた。		<input type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	関係機関からの情報は職員に伝え共有している。また、児童相談、保健師との連携も図っているが、具体的な取り組みとしては不十分と感じるためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(こども園)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア こども園(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流や相談事業などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ こども園のもつ機能を地域へ還元したり、関係機関・団体との連携、民生委員・児童委員等との定期的な会議の開催等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。(保育所)
	児童委員・民生委員等と話す機会はあるが、定期的ではないため、積極的に連携を図って行きたい。そのためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業などを通して、多様な相談に応じる機能を有している。(こども園)
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動(地域の子どもの育成・支援、子どもの貧困への支援等)を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
	在園児に対しての延長保育や一時預かり、また一般にも一時預かりを行っている。保育教諭が地域の活動に出向いて参加している。また、今年初めて防災対策の面で町会長の方に来ていただき地域とのところからの関係の足掛かりとなればと考えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 多様な機関や地域住民等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
			<input type="checkbox"/>	エ こども園(法人)が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
			<input type="checkbox"/>	オ 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
【共通評価基準】

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

※「保育」については「教育・保育」に読み替える。

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	子どもを尊重した教育・保育を實踐し、事業計画などのホームページへの開示など行っているが、保護者も理解を図る取り組みについては十分ではないと感じるため、b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input type="checkbox"/> ク	子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29	② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	規定・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した保育が実施されている。
	「個人情報保護規定」整備された保護者に対しても入園時に「個人情報の取り扱いについて」を書面で説明し同意を得ている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	一人ひとりの子どもにとって、生活の場にもふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子ども・保護者にプライバシー保護に関する取組を周知している。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	<input type="checkbox"/> ア	理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	こども園を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	重要事項説明書やホームページで情報を公表しているが、公共の施設等の場に配布してはなかったためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	こども園の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	入園の際の重要事項説明書にわかりやすく明記し、その都度対応しているが、特に配慮が必要な保護者がいた場合のルールとしてその場で記入していただいている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input type="checkbox"/> オ	特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ こども園等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	こども園等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/> イ	こども園の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	転園があった場合は転園先に児童の要録を送付しているが、利用が終了した際の保護者に相談方法の文書は渡していないためb評価とした。		<input type="checkbox"/> ウ	こども園の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を送っている。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
33	① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/> ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	保護者に対してアンケートを行い、要望や改善点を考慮しながら、個人面談等も必要に応じて行ってきた。保護者が自ら保護者会を行うことは無い為b評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input type="checkbox"/> エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(こども園)

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

III-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	苦情解決体制が設置され、アンケート調査や園内に入ってお迎えとなっているので担任と話しやすい状況(苦情や要望が申し出やすい)になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b	<input type="checkbox"/>	ア 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	入園の際説明を行っているが、複数の方法という点については伝えていないためためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	アンケートや普段の連絡帳(キッズビュー)送迎時の際など保護者からの意見を傾聴する姿勢で対応し迅速に対応している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
III-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	リスクマネジメントの体制が整い、ヒヤリハットの分析等を行い職員に周知している。事故等起こった時には手順に従い行動し、対策を行い、事故防止に繋げている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	<input type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	感染症が発生した時にはマニュアルを確認し、見直した、予防策を必要に応じて話し合っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直ししている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	災害対策計画は作成され、緊急連絡についても今年度から保護者に対してのEメール配信を行っていくが、地元等の連携体制については町会長に話をする機会があったが今後さらに繋げて行きたい課題であるためb評価とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決まられ、すべての職員に周知されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			<input type="checkbox"/>	オ 防災計画等を整備し、地域の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート②**  
**【共通評価基準】**

**Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保**

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	指導計画等な子どもの状態などに考慮して保育実践が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	検証・見直しにあたり改めて保護者からの意見や提案が反映されているかと思うが十分ではないと思われることからb判定とした。		<input checked="" type="checkbox"/>	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input type="checkbox"/>	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画作成の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	発達支援施設の方が園に来園し園児に対して必要に応じてアセスメントを行っているが発達障害の園児に限ったことのためb評価とした。		<input type="checkbox"/>	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画にもとづき、指導計画が作成されている。(こども園)
			<input type="checkbox"/>	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/>	計画の作成にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(こども園)
			<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(こども園)
			<input type="checkbox"/>	支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。(こども園)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画の中に保育の質の向上に関わる課題など明確さが十分ではないと思う事からb評価とした。		<input type="checkbox"/>	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			<input type="checkbox"/>	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。(こども園)
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
	記録の書き方や内容はその都度確認し、指導している。また、情報共有の場として月一回、また、必要となった時にはその都度会議が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コンピュータネットワークや記録ファイル等を通じて、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	個人情報保護規程が周知され、また、保護者には入園時に「個人情報の取り扱いについて」という文章を分かりやすく説明し、同意してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

# 認定こども園SHINJO 自己評価シート③

## 【内容評価基準】

### 【自己評価の実施にあたって】

- 第三者評価基準「評価の着眼点」や「評価基準の考え方と評価の留意点」を参考に自己評価をしてください。
- 評価結果は、「自己評価結果欄」のドロップダウンから選択してください（「a・b・c」）。
- また、その判断した理由・特記事項等を「判断した理由・特記事項等欄」にご記入ください。
- 「評価の着眼点」についても「☑欄」のドロップダウンから選択してください（「□・☑」）。

※「保育」は、「教育・保育」と読み替える。

※「施設長」は、「園長」と読み替える。

### A-1 保育内容

A-1-(1) 全体的な計画の作成		自己評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
1	① こども園の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a	☑	ア 全体的な計画は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 全体的な計画は、こども園の理念、保育の方針や目標に基づいて作成している。
	全体的な計画は子どもの発達過程や地域の実態に応じて作成している。		☑	ウ 全体的な計画は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して作成している。
			☑	エ 全体的な計画は、保育に関わる職員が参画して作成している。
			☑	オ 全体的な計画は、定期的に評価を行い、次の作成に生かしている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果	☑	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
2	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	☑	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ こども園内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	明るい空間で過ごすことが出来、冷房暖房換気なども適切におこなわれていると思う。		☑	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			☑	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			☑	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			☑	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
3	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	☑	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	一人ひとりの子どもの状態(発達)に合わせて、ゆっくり関わることを心掛けている。		☑	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			☑	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			☑	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			☑	カ せかさ言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
4	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	☑	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	一人ひとりの子どもの発達段階に合わせた関わりをし、定期的に葛必要に応じて援助の仕方について話し合っている。		☑	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			☑	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			☑	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
5	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	☑	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子どもが自ら遊びたい玩具や素材を自由に使えるように配置している(月齢に応じて)。戸外遊びは午前だけではなく、午後時間も十分遊ぶことが出来るよう配慮している。散歩に出際には近隣の方に挨拶をしたり、交通ルールを伝えている。また、今年度は大雪の出現により園庭遊びが難しくなりましたが、		☑	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			☑	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			☑	オ 生活と遊びを通して、友だちなど人間関係が育まれるよう援助している。
			☑	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			☑	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			☑	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			☑	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			☑	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

認定こども園SHINJO 自己評価シート③  
【内容評価基準】

6	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	0歳児が、安心して、保育教諭等と愛着関係情緒の安定が持てるよう配慮している。
	月齢によって個人差があり、一人一人の生活リズムを大切にしながら過ごせるように関わっている。また、保護者からの質問には丁寧に答え、また、発達が見られた時にはキッズビューや口頭で保護者と共感しながら伝えあっている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
7	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	友達と関わりたい気持ちが強くなる年齢でもあるため保育教諭は子ども同士の仲立ちをしながら、言葉のやり取り、相手の子の気持ちの代弁を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育教諭等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育教諭等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	保育教諭等が、友だちとの関わりの仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	様々な年齢の子どもや、保育教諭以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
8	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
	集団の中にあっても一対一の関わりが必要な時には十分関わりながらまた、集団へと戻れるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育教諭等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
9	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	子どもの特性を理解しながら、保護者とも密に連絡を取り合い、必要に応じて面談を行い、相談機関を進めたり、成長が見られた時には伝え合い次に繋がるような教育・保育内容を計画している。また、発達支援施設の担当者や情報を交換・共有することができた。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/> ク	こども園の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
10	⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	夕方にはゆったりと遊べるように玩具や絵本を準備し保育教諭とも十分関わるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	子どもの在園時間や生活リズムに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> カ	子どもの状況について、保育教諭間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> キ	担当の保育教諭と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。
11	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/> ア	計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/> イ	子どもが、小学校以降の生活について見直しを持てる機会が設けられている。
	近隣小学校と連携し架け橋プログラムとし、年長児が小学生と交流や、小学校の教員が園に来て保育参観、教員と保育教諭がオアシス会議を行うことができた。また、今年度も参観日も行事として設け保護者が園での様子を観る機会をつくった。		<input checked="" type="checkbox"/> ウ	保護者が、小学校以降の子ども生活について見直しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/> エ	保育教諭等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/> オ	施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート③**  
【内容評価基準】

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
12	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	園内で流行しているものがあれば伝えている。流行する可能性が高い病気に関しては“げんき通信”で知らせると共に玄関先に園内感染の状況も掲示している。また、場合によって各ROOMごとにキッズビューにて伝えることもある。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
13	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	キッズビューにて内科検診・歯科検診の結果を伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家庭での生活に生かされ、保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。
14	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー除去食は食器の色や御盆で区別し名前も分かるように記載している。また、必要に応じてアレルギー検査を保護者に行うようお願いしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者との連携を密にして、こども園での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
A-1-(4) 食事		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
15	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	玄関前に本日のメニューを掲示し給食が出来た時には園内にサンプルを展示している。給食時には盛り付けの際、保育教諭が子どもに食べられる量を確認しながら配膳している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。
16	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	地産地消を心掛け添加物の入っていない食材を考慮しながら作っている。また、新メニューに取り組み子ども達が楽しみに出来るように心がけている。栄養士から子ども達へ話をすることも設けることができた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 残食の調査記録や検査簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 季節感のある献立となるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域の食文化や行事食などを取り入れている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。

**A-2 子育て支援**

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
17	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	園児が帰園の際は保護者の方に園児のいる部屋まで来ていただき担任と直接話せる機会が増えた。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。

**認定こども園SHINJO 自己評価シート③**  
【内容評価基準】

A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
18	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者等からの相談に応じる体制がある。
	連絡帳(キッズビュー)へのやり取りや上記に記載した内容と必要に応じて面談などを行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ こども園の特性を生かした保護者への支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 相談内容を適切に記録している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 相談を受けた保育教諭等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。
19	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかにこども園内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	保健所内のはぐみプラザと近隣の小学校の校長や教頭等との情報提供の体制もでき、子どもに状態に変化がある場合は連絡をすることになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 見守り相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ マニュアルにもとづく職員研修を実施している。

**A-3 教育・保育の質の向上**

A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育教諭等の自己評価)		自己評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
20	① 保育教諭等が主体的に教育・保育実践の振り返り(自己評価)を行い、教育・保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育教諭等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの教育・保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	自己評価や研修を行う事で日々の教育・保育内容を振り返ることが出来ていると感じる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育教育等の自己評価を、定期的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育教諭等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保育教育等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 保育教育等の自己評価を、こども園全体の教育・保育実践の自己評価につなげている。